

## 生産者に寄添うドローン導入による農薬散布で売上拡大

### 担当者コメント

南関町商工会 氏名 高橋 寛光

事業者名：有限会社古賀商店

業種：小売業



持続化で購入したドローン

南関町の個人事業主さんの中では初の試みとなるドローンを導入しての農薬散布事業を支援でき、色々と勉強になりました。

### 支援テーマ

	創業
	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
○	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
○	持続化補助金
	その他

### 支援前の課題

#### 【企業概要】

熊本県玉名郡南関町関町 1280 で事業しており、町の商店街の一角で営んでいる。生産者への肥料及び農薬の販売、米の集荷と洗米、玄米販売、筍の集荷と販売農業資材販売、営農指導を行っている。1988年4月に法人化し、平成12年代表取締役就任。

(創業) 大正 13 年

(代表者の年齢) 59 歳

(現状分析)・強み 大正 13 年から続いている。また、長年営農指導等を行っておりお客様の信用も厚い。

- ・弱み 息子が 2 人居るが、後継者が決まっていない。
- ・機会 JA がヘリでの農薬散布をしているが、ドローンでは行っていない。ドローンの方がハウスの中の農薬散布もできるため利用者は多い。
- ・売れ筋商品・顧客ニーズの把握

現在の農業事業者は高齢化・後継者不足に陥っている。耕作放棄地が多く、作物を生産している大規模農家は少ないため機械化が進んでいる。

- ・競合する店舗等

南関町には当社の様な店舗はないが、JA（玉名農業組合）が競合店。

#### 【支援課題・支援計画】

(支援課題) 新サービス提供・顧客拡大

## 支援内容

### フェーズ1 新たなサービス展開支援

ドローン活用による農薬散布を行うサービスを新たに始め新規顧客獲得・売上増加を目指す。

南関町では、JAがヘリコプターでの農薬散布は行っているが、ドローンでの農薬散布は行っていないため南関町では唯一無二の事業になる。また、通常農薬散布は年に2回行われているが、事業主の店舗の農薬は年に1度行えればよい農薬を散布することで、消費者にかかる金額の負担も減らせ、ビニールハウス等の狭い場所でも農薬散布ができるため新規顧客と売上増加に期待できる事業になる。

### フェーズ2 持続化補助金申請支援

ドローン購入のために持続化補助金の申請の補助を行った。

持続化補助金を活用すること自体が初めてだったため持続化補助金とはというところから始めた。

商工会独自事業の専門家派遣も活用し、時間はかかったが事業主さんも納得する申請ができました。

#### (進捗・成果)

ドローンの農薬散布については、現在は個人との契約のみで提供しています。

また新サービス提供によって売上は2割程度上がったが、まだ周知等が完全ではないので継続して支援していきながら今後の売上に期待しています。



## 事業者様の声

今回初めての持続化補助金を活用させていただきとても勉強になりました。また、持続化補助金の採択後から施工・実績・入金まで担当指導員さんからは遅くなる可能性があるとは聞いていたが自分で思っていた以上の時間がかかったという印象でした。

ですが、この補助金がなければ新しい事業に取り組むことはなかったかもしないのでとても助かりました。ありがとうございました。



代表者写真

### 取組の中で、おすすめしたい自社のアピールポイント

専農指導を行っているため、土地ごとの必要な肥料をお伝えすることができます。また、独自で肥料を調合している所は当社のみなのでそこが強みとなってます。